

MAHMOUD KAABOUR

Multi award-winning filmmaker, writer, and lecturer from Beirut.

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Business
- Government
- Management
- Politics

Mahmoud Kaabourは、レバノンの数々の賞を受賞したディレクター、作家、そして講師です。現在はアラブ首長国連邦に拠点を置き、この地域で最も著名なドキュメンタリー映画作家として浮上しています。

彼の画期的な映画Teta(Alf Marra(おばあちゃん、千の回))は、ロンドン、ムンバイ、メキシコシティ、カタール、シリアで、驚異的な7つの主要な観客賞と最優秀映画賞をすくい上げ、世界中の55以上の都市で満員住宅を上映そして中国。

世界的に著名なマスコミからの熱烈なレビュー(New York Times 評論家ピック)で、彼の映画はGCCで制作されたドキュメンタリーのための最初のアカデミー賞資格でした。

アラブ首長国連邦の労働収容所でのハリウッドの歌唱コンクールについての彼の映画、チャンプオブザキャンプは、湾岸地域の移住労働者の世界を探検する最初のクリエイティブドキュメンタリーです。この映画は、2013年12月にドバイ国際映画祭で画期的な上映が行われ、人気が高く評価されました(CNN, BBC, al Jazeeraなど、世界的に報道されています) France 24, NPR および International New York Times

Kaabourは、モントリオールのMel Oppenheim School of Cinemaを卒業しました。彼の最初の映画Being Osamaは、9/11以降の世界でビンラディンの名を共有した6人の男性の生涯に関するドキュメンタリーで、4つの国際賞を受賞し、12の国際チャンネルで放映されました。それはまた彼をカナダのテレビの歴史の中で最年少の委託映画製作者にしました。

Kaabourは、UAEのノンフィクション映画の大手制作会社であるVeritas Filmsの創設者兼最高経営責任者です。彼の商業的な仕事には、アラブ首長国連邦の最高の政府機関および企業体のために何十ものオーダーメイドのドキュメンタリーを監督することが含まれています。アラブ首長国連邦で育ったMahmoudは、洗練されたドキュメンタリーアプローチと、この地域特有の感性や将来の抱負を理解したバランスの取れた演出スタイルをもたらします。

彼のコーポレートおよびクリエイティブディレクターの仕事に加えて、彼は新進気鋭の映画制作者にマスタートドキュメンタリークラスを教えることと同様にメディアコンサルタントとキュレーターサービスを提供します。